

水連
会長賞

若手漁業者の発想を活かす

新・ご当地グルメ開発と
ブルーツーリズムで活力！



こどもり
小泊 地域水産業再生委員会
(JF小泊・JF下前)

若い力で高齢化漁業に歯止めをかける

業界全体を悩ませる燃油や資材の高騰は、青森県 中泊町 小泊地域でも同様の課題だった。また、この地で漁業を営む小泊・下前の両漁協では60歳以上の漁業者が7割を超え、今後の漁業の発展のためには、高齢化に歯止めをかけ、若い人材の確保と育成が必要だった。

この状況を打破し、地域活性化を目指して、平成25年、若手漁師と漁協・行政の職員など、総勢23名で構成された『中泊活ハマクラブ』が発足した。

新・ご当地グルメ『中泊メバル膳』の誕生

取組みが大きく飛躍したきっかけは、平成28年の北海道新幹線開業だった。観光客の誘致を目指して、中泊ならではの商品企画が進められ、この地で獲られる「津軽海峡メバル」(ウスマバル)を丸一尾使ったご当地グルメが開発されることになった。漁協・飲食店・中泊町が連携する場、「中泊メバル料理推進協議会」を発足し、おもてなし膳『中泊メバル膳』が完成。新幹線開業前の平成26年7月から町内の飲食店での

若手漁業者を中心に、行政職員も含めて構成された『中泊活ハマクラブ』。若い発想による活動が、地域に大きな経済効果をもたらしている。

①ウスマバル ②中泊活ハマクラブ ③中泊メバル膳 ④⑤メバチン! ⑥活ハマまつりでの様子 ⑦網外し体験ツアーでの様子 ⑧製氷庫見学の様子
(引用：中泊メバル料理推進協議会ホームページ)

提供を開始した。積極的なPRの甲斐もあり、平成29年末までに50,000食に迫る販売実績を記録、その経済効果は2億円に上るとも試算され、地域活性化に大きな効果をもたらした。また、中泊メバル膳の好評を受け、電子レンジ調理で煮付けを楽しめる加工品『中泊メバルでチン! (通称:メバチン!)』も開発するなど、事業を展開中だ。

若手漁業者の発想によるブルーツーリズム

中泊活ハマクラブは、津軽海峡メバルの販売促進のため、イベントの

開催などブルーツーリズムに注力。平成26年から『津軽海峡メバル』網外し体験ツアーを夏期に開催。メバルの網外し体験後にはメバル料理が楽しめるうえ、ウスマバル1尾のお土産付きで、昨年までに計18回開催し、観光客の誘致に貢献している。また、地域はもちろんのこと、漁業者をも元気づけることを目的に、イベント『活ハマまつり』を定期開催している。その他にも多彩なイベントを自分たちで企画・立案することで、若手漁業者内の地域に対する愛着が増し、前向きな発想を生み出すといった成果も得られている。

若手を育てる環境が、前向きな発想を生む

小泊地区の浜プランでは、若手漁業者を中心に組織された『中泊活ハマクラブ』の存在がキーになっている。販促・PR活動を通じて、若い漁業者を育てる風土が出来上がり、当初23名だったメンバーは、現在、20代の若者を中心に45名にまで増加し、若い発想による地域活性化のための活動が生まれている。「漁業者よし、漁協よし、地域よし」の「三方よし」の浜プランが着実に浜に活力を与え始めている。

表彰選定委員会でのコメント (一部抜粋)

「リーダーの存在が大きく、地域全体が一体に取り組んでいるところを評価。」
「大漁時の鮮魚の価格下落という多くの地域で抱える問題を克服するための一つの模範となりうる点で受賞につながった。」

再生委員会 情報

- 委員会名：小泊地域水産業再生委員会 ●代表者：成田 直人
- 構成メンバー：中泊町、小泊漁業協同組合、下前漁業協同組合 他
- 対象漁業：各種定置網漁業、各種刺網漁業、一本釣り、イカ釣り・ヤリイカ光力利用敷網漁業 等

浜プラン詳細 (小泊)

浜プラン詳細 (下前)

